

沖縄県立芸術大学附属研究所彙報

I 研究業務状況

(1) 2部門以上共通

1. 移動大学 in 伊平屋島 [担当:芸術文化学部門、伝統工芸部門、伝統芸能部門]

「沖縄県立芸術大学移動大学 in 伊平屋島」(オンライン開催)

2020年11月2日(月)、2020年11月12日(木)

会場:伊平屋村立伊平屋小学校、沖縄県立芸術大学一般教育棟

彫刻教室 講師:河原圭佑 長尾恵那

自画像の描き方教室 講師:白砂真也

運営担当教員:久万田晋 鈴木耕太 新田摂子

事務スタッフ:平田利恵子

延べ参加人数:7名

2. 沖縄県立芸術大学附属研究所文化講座・沖縄学 [担当:芸術文化学部門、伝統工芸部門、伝統芸能部門]

講座テーマ「首里城と琉球・沖縄文化」(総合教育科目「沖縄学」としても開講)

※オンデマンドで開催

期間:2020年10月7日～2021年1月27日(毎週水曜日)

第1回10月7日 波照間 永吉(沖縄県立芸術大学客員教授)

「首里城と『おもろさうし』」

第2回10月14日 高嶺 久枝(沖縄県立芸術大学音楽学部教授)

「首里城と琉球舞踊」

第3回10月21日 鈴木 耕太(沖縄県立芸術大学附属研究所准教授)

「首里城と組踊」

第4回10月28日 麻生 伸一(沖縄県立芸術大学全学教育センター准教授)

「首里城と歴史」

- 第5回 11月11日 森 達也 (沖縄県立芸術大学全学教育センター教授)
「考古学から考える首里城」
- 第6回 11月18日 赤嶺 政信 (琉球大学名誉教授)
「首里城と民俗文化」
- 第7回 11月25日 久万田 晋 (沖縄県立芸術大学附属研究所教授)
「首里城と民俗芸能」
- 第8回 12月2日 照屋 理 (名桜大学上級准教授)
「首里城と祭祀」
- 第9回 12月9日 金城 厚 (沖縄県立芸術大学客員教授)
「首里城と琉球音楽」
- 第10回 12月16日 安里 進 (沖縄県立芸術大学名誉教授)
「首里城と建築様式」
- 第11回 12月23日 小林 純子 (沖縄県立芸術大学美術工芸学部教授)
「首里城と琉球絵画」
- 第12回 1月13日 當眞 茂 (沖縄県立芸術大学美術工芸学部准教授)
「首里城と漆芸技術」
- 第13回 1月20日 栗国 恭子 (沖縄国際大学非常勤講師・附属研究所共同
研究員)
「首里城と金工文化」
- 第14回 1月27日 新田 摂子 (沖縄県立芸術大学附属研究所講師)
「首里城と染織文化」

視聴回数合計：延べ2,216回 (2020年12月22日時点)

3. 令和2年度沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育プログラム開発事業 [担
当:鈴木耕太 (代表)・麻生伸一・比嘉いずみ / 専任・兼任教員以外のメンバー:
波照間永吉・高良則子・仲嶺伸吾・高嶺久枝・阿嘉修・西岡敏・仲原穰]
Aしまくとぅばを用いた琉球芸能実践授業 (琉球芸能専攻にて実施。今年
度は後期のみ)
Bしまくとぅば講演会「誇らしゃしまくとぅば」(2020年9月・2021年2
月。オンデマンド配信)

- C 琉球芸能におけるしまくとぅば副教材の開発 (2020年6月～)
- D 首里系組踊勉強会開催 (2020年9月～)
- E 平成31(令和元)年度しまくとぅば実践教育プログラム開発事業事業報告会 (2021年3月。オンデマンド開催)
- F 『琉球芸能用語事典(仮)』の編集

(2) 芸術文化学部門

1. 地域文化の調査研究
 - a 組踊を中心とした琉球文学の研究 [担当：鈴木耕太准教授]
 - b 沖縄各地の伝統文化の調査研究 [担当：鈴木耕太准教授]
2. 沖縄文化の比較文化論的研究 [担当：波平八郎教授]
3. 沖縄文化の歴史学的研究 [担当：麻生伸一准教授]

(3) 伝統工芸部門

1. 沖縄染織品の調査 [担当：新田摂子講師]
 - a. Wereldmuseum Rotterdam 所蔵沖縄染織コレクションの調査、2020年2月23日～3月2日
 - b. 沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館所蔵 大城志津子資料の調査、2020年3月
 - c. 沖縄県立博物館所蔵 俵屋コレクションの調査、2020年11月～12月
2. 沖縄伝統染織技法の研究 [担当：新田摂子講師]
 - a. 絹糸の製糸法の研究(真綿紬、座繰り繰糸、手引き糸)、2020年5月～7月
3. 沖縄染織研究会運営 [担当：新田摂子講師]

(4) 伝統芸能部門

1. 沖縄・奄美の民俗音楽の調査研究 [担当：久万田晋教授]
 - a 奄美大島・喜界島の芸能採譜資料の作成 [8～11月]
 - b 沖縄本島エイサーの芸能関連資料の作成 [12月～2月]
2. 日本本土の音楽芸能文化の調査研究 [担当：久万田晋教授]
 - a 京都府の民俗芸能の調査資料分析 [8月～10月]

3. 沖縄県立芸術大学附属研究所文化講座

a「バリ島のガムラン音楽」[担当:与那城常和子非常勤講師他]2021年3月(予定)

Ⅱ 主要研究業績

1) 研究所員主要研究業績 (2020年1月～12月)

1. 著者・編書
2. 論文
3. 作品発表・公演
4. 研究発表
5. 解説等
6. 講演・放送
7. その他

2) 助成研究

1. 平成30年度において研究代表者、研究分担者となっている科学研究費研究
a 研究代業者となっているもの b 研究分担者となっているもの
2. 沖縄県立芸術大学関連助成研究
3. その他

(1) 研究所所長

波平 八郎 (教授、兼任教員)

1)

7. 「概念メタファーによる『椿説弓張月』の分析」(沖縄県立芸術大学紀要第28号、2020年3月)

(2) 芸術文化学部門

鈴木 耕太 (准教授・専任教員)

1)

2. 「沖永良部島と組踊―道の島と琉球の文化伝承に関する一考察―」『沖縄芸術の科学』32号沖縄県立芸術大学附属研究所2020年3月
2. 「玉城朝薫―初の冠船奉行・そして組踊創始者の来歴―」『冊封琉球全図―一七一九年の御取り持ち―』雄山閣2020年3月
2. 「尚敬王―組踊を初めて公の場で鑑賞した国王―」『冊封琉球全図―一七一九年の御取り持ち―』雄山閣2020年3月

2. 「近世における組踊をめぐって—上演作品・舞台・小道具、そして近代への伝承」『沖縄芸能のダイナミズム』七月社2020年4月
2. 「近代における組踊の様相—近代組踊上演史再考—」『沖縄文化 沖縄文化協会創立七〇年誌』沖縄文化協会2020年10月
2. 「組踊と『季節』—おもに組踊における雪の表現について—」『国立劇場おきなわ上演資料集〈四十六〉』国立劇場おきなわ2020年11月
2. 「論考『雪払』を考える」国立劇場おきなわステージガイド『華風』2020年12月号 2020年11月
3. 組踊「漢那の子」 「第1回新作組踊・戯曲大賞」佳作受賞作品 国立劇場おきなわ2020年2月3日
3. 「組踊 桃の情」脚本・演出 ライオンの子保育園発表会 アイム・ユニバースてだこホール小劇場(上演日:2020年2月22日)
4. 「昭和初期の琉球芸能と映画・映像」第7回沖縄映画研究会 沖縄県立芸術大学附属研究所小講堂 2020年2月23日
5. 展評「香川亮 彩墨画展」沖縄タイムス 2020年6月3日
5. 組踊「伊祖の子」解説 国立劇場おきなわステージガイド『華風』2020年12月号 2020年11月
6. 沖縄テレビ開局60周年記念特別番組「國劇組踊～成底ゆう子がみた琉球のダイナミズム～」2020年1月2日 12:00～12:25(55分・再放送)
6. 琉球放送創立65周年記念特別番組「組踊 1719-2019」第2部「～世紀を越える奇跡の芸能～」監修 2020年1月3日7:00～8:00(60分・再放送)
6. 「組踊の歴史 初演から現在までの上演史概説」第10期首里大学 主催: 首里振興会 沖縄県総合福祉センター 2020年1月14日
6. シンポジウム登壇「組踊上演300周年記念シンポジウム～『上演400周年に向けて広げ、つなげるための取り組み』～」主催: 組踊上演300周年記念事業実行委員会 国立劇場おきなわ小劇場2020年1月22日
6. 「沖縄空手と芸能」第4回沖縄空手アカデミー 主催: 沖縄県空手振興課 沖縄県体協スポーツ会館 会議室A・B 2020年1月30日
6. 「首里と芸能」第3回「すいまち塾」(NPO法人首里まちづくり研究会) 2020年9月19日

6. 「首里城と組踊」 令和2年度沖縄県立芸術大学附属研究所沖縄学講座第3回 2020年10月21日
6. 「首里城と組踊」 令和2年度浦添市立図書館沖縄学講座第2回 2020年12月20日
7. 「沖縄タイムス『ワラビー』琉球芸能紹介』『沖縄タイムス』2020年1月～12月(毎月第2日曜掲載)
7. 「琉球新報『聴事を求めて』』『琉球新報』2020年1月～12月(毎月第1・第2水曜日曜掲載)
7. 「首里城と奄美⑤畦布組踊」『南海日日新聞』8面2020年3月15日
7. 取材記事「桃太郎組踊で熱演」『沖縄タイムス ワラビー』1面2020年3月22日
7. 取材記事「園児、創作組踊に挑戦」『琉球新報』2020年3月26日
7. 「琉球芸能教育としまくとぅば」『琉球新報』2020年5月30日
7. 「コロナ禍のしまくとぅば実践授業」『琉球新報』2020年7月2日

2)

1. 令和2年度において研究代表者、研究分担者となっている科学研究費研究
 - b 研究分担者となっているもの
 課題研究(C)「琉球王国の儀礼芸能の再現に関する芸能史的研究」 研究代表者：金城厚

麻生 伸一 (准教授・兼任教員)

1)

1. 国立劇場おきなわ監修, 麻生伸一・茂木仁史編『冊封琉球全図:一七一九年の御取り持ち』雄山閣, 2020年3月
1. 国立劇場おきなわ監修, 麻生伸一・茂木仁史編『火花方日記の研究』榕樹書林, 2020年3月
2. 「尚泰冊封と首里王府・清朝一同治年間を中心に―」『沖縄文化 沖縄文化協会創設70周年記念誌』沖縄文化協会編集委員会, pp.33-59, 2020年。
2. 「近世琉球の職人集団と王府」No.2, 琉球沖縄歴史学会, pp.3-23, 2020年。
2. 「近世琉球における冠船ハーリーの諸相―1838年を中心に―」『沖縄芸術の科学:沖縄県立芸術大学附属研究所紀要』32, pp.51-75, 2020年3月

4. 「18, 19 世紀における琉球の対清貿易について—「球商」との取引を中心に—」琉球沖縄歴史学会9月例会、2020年9月26日、オンライン開催。
4. 「福州琉球館貿易関係史料について」科学研究費「琉球史科学の基礎的構築に基づく近世琉球史研究」研究会、2020年12月13日、オンライン開催。
4. 「冊封使的来琉与文化传播—以1719年为中心—」国際琴学研究(網上)検討会、2020年12月26日、オンライン開催。
6. 「古文書の読み方 パート1」、おきなわ県民カレッジ第4回美ら島沖縄学講座、2019年8月28日、沖縄県南部合同庁舎。
6. 「古文書の読み方 パート2」、おきなわ県民カレッジ第4回美ら島沖縄学講座、2019年10月17日、沖縄県南部合同庁舎。
6. 「首里城と歴史」沖縄県立芸術大学附属研究所令和2年度文化講座「首里城と琉球・沖縄文化」、2020年10月28日、オンライン開催。
7. 「第37回東恩納寛淳賞 上原兼善氏の人と業績」2020年2月18日、沖縄タイムス。
7. (監修)「首里城 時代の地図—④1609年～1709年 第二尚氏王統② 薩摩侵攻 二重朝貢国に—」2020年4月30日、沖縄タイムス。

2)

1. b 基盤研究(B) 16H03476「琉球史科学の基礎的構築に基づく近世琉球史研究」(2016年度-2021年度) 研究代表者：豊見山和行(琉球大学)
1. b 基盤研究(B) 19H01299 海域アジアにおける港市および港市国家の基礎的研究：広域的・多角的な視座から(2019年度-2023年度) 研究代表者：黒嶋敏(東京大学)
1. b 基盤研究(B) 18H00698 南西諸島における海上交通の復元的研究—「帆船の時代」の「歴史航海図」—(2018年度-2022年度) 研究代表者：四日市康博(立教大学)
3. 沖縄銀行ふるさと振興基金「琉球辞令書集成のための基礎的研究」代表(琉球辞令書研究会)

(3) 伝統工芸部門

新田 摂子（講師、専任教員）

1)

1. 共著「沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館所蔵「大城志津子資料」に関する調査研究報告書」平成31年度（2019年度）沖縄県立芸術大学教育研究支援資金助成事業報告書、2020年3月31日、研究代表者：小林純子
2. 「在欧沖縄染織コレクションの形成について 日本の美術館所蔵品との関連性より」沖縄染織研究会通信 vol.104、2020年8月21日、沖縄染織研究会
4. 「在欧沖縄染織コレクションの形成について 日本の美術館所蔵品との関連性より」第110回沖縄染織研究会、2020年2月21日、沖縄県立芸術大学附属研究所
7. Wereldmuseum Rotterdamでの沖縄染織コレクションの調査、2020年2月23日～3月2日
7. 沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館所蔵 大城志津子資料の調査、2020年3月
7. 沖縄県立博物館・美術館での俵屋コレクションの調査、2020年11月～12月

2)

1. b 国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(B)）19KK0005
「在欧沖縄染織品の調査とそのコレクションの形成に関する研究」、2019年～2023年、研究分担者、研究代表者：柳悦州（沖縄県立芸術大学名誉教授）

名護 朝和（教授、兼任教員）

1)

3. 型染軸作品「月夜の花」、型染屏風作品「緑の上に青の中に」、型染額装「記憶の中に」「桜蝶尽くし文様藍型」、染パネル「八月の海」「春の海」「赤樹」《名護朝和 展-型染め-》ギャラリー猫亀屋（大阪）2020年9月5日～13日
3. 型染屏風作品「緑の上に青の中に」、型染額装「Pool」「記憶の中に」「久高の杜」「ダイゴと台風」「霞に楓桜文様藍型」、染パネル「春の海」「赤樹」《名護朝和染色展》沖縄県立図書館4F 沖芸サテライト・ミニ・ギャラリー

vol.4 2020年12月2日～27日

- 2) 3. 令和元年金武町ふるさと創生事業「屋嘉の芸能衣裳」再現製作
事業期間／2019年11月～2020年12月 内容／型紙製作、金箔 後施工程等

山田 聡（教授、兼任教員）

- 1)
- 3. 2020年8月 沖縄陶芸5人展 東京
 - 7. 2020年12月 かりゆし美術展 審査員
 - 7. 2020年12月 第43回沖縄工芸公募展 審査員

(4) 伝統芸能部門

久万田 晋（教授、専任教員）

- 1)
- 1. 共編『沖縄芸能のダイナミズム 創造・表象・越境』（共編者：三島わかかな）七月社、2020年4月15日、全376頁。
 - 2. 「第六節 近現代エイサーの展開」『沖縄県史 各論編 第九巻 民俗』沖縄県教育委員会、2020年3月24日、pp.691-696。
 - 2. 「沖縄臼太鼓旋律のリズム分析試論－奄美大島八月踊り旋律と比較して－」『沖縄芸術の科学』第32号、2020年3月31日、pp.33-49。
 - 2. 「沖縄本島におけるエイサー伝播の現代的状況－沖縄本島北部・中部・南部の事例から－」『沖縄芸能のダイナミズム 創造・表象・越境』（久万田晋・三島わかかな編）七月社、2020年4月15日、pp.252-288。
 - 2. 「書評：塚田健一著『エイサー物語 移動する人、伝播する芸能』」『東洋音楽研究』第85号、一般社団法人東洋音楽学会、2020年8月31日、pp.140-143。
 - 4. 座談会「エイサーとチョンダラー再考」（新庄亘、小西潤子）に討論者として参加、東洋音楽学会沖縄支部第73回定例研究会、2020年2月16日、那覇市：沖縄県立芸術大学。
 - 5. 解説「沖永良部島創世神話・島建シンゴについて」シーサーズ公演＜唄の庭

- 「環」>2020年1月12日、東京都中野区東中野：驢馬駱駝（東中野PAO 9F）。
6. 講義「エイサーと念仏歌謡について」エイサー大学（第13回）、2020年1月19日、沖縄市：エイサー会館。
 6. 講義「沖縄の伝統芸能・音楽の世界」陸上自衛隊第15音楽隊・講義、2020年3月17日、那覇市：陸上自衛隊那覇駐屯地。
 6. 講義「首里城と民俗芸能」令和2年度沖縄県立芸術大学附属研究所文化講座<首里城と琉球・沖縄文化>2020年11月25日、オンデマンド配信（YouTube）。
 6. 講義「エイサーの起源と近代の展開」エイサー大学（第1回）、2020年12月12日、沖縄市：エイサー会館。
 7. 「山内盛彬先生と民俗芸能」『第2回 山内盛彬顕彰・首里城復興支援公演 琉球の祈りの響き』公演パンフレット、2020年1月19日、国立劇場おきなわ小劇場、p.9。
 7. 「沖縄芸能への思いと眼差し」七月社ホームページ「ほんのうらがわ」（<https://www.7gatsusha.com/column/569/>）、2020年4月。
 7. 「連載 沖縄・奄美の島々を 彩る歌と踊り① 沖縄の神行事 - 他界からのカミを迎える-」『e-magazine LATINA』（ウェブ雑誌）2020年8月。
 7. 「連載 沖縄・奄美の島々を 彩る歌と踊り② 沖縄の白太鼓 - シマを支える女性たちの歌声-」『e-magazine LATINA』（ウェブ雑誌）2020年9月。
 7. 「連載 沖縄・奄美の島々を 彩る歌と踊り③ 沖縄のエイサー - 若者の躍動するパフォーマンス-」『e-magazine LATINA』（ウェブ雑誌）2020年10月。
 7. 「連載 沖縄・奄美の島々を 彩る歌と踊り④ 沖縄の巡遊芸人チョンダラー - 沖縄芸能のミッシング・リンカー-」『e-magazine LATINA』（ウェブ雑誌）2020年11月。
 7. 「冬休み！沖縄の民謡と民俗芸能をより深く知るための15冊」（Book List ~ 沖芸の先生による、今読むべきこの15冊 ~ Vol.4）沖縄県立芸術大学、2020年11月。
 7. 「連載 沖縄・奄美の島々を 彩る歌と踊り⑤ 沖縄の綱引き - 夏折目の統合・厄祓・競合-」『e-magazine LATINA』（ウェブ雑誌）2020年12月。

2)

1. b 基盤研究(C)「民謡現地調査録音資料のアーカイブ化と公開活用の方法」(2017年度～2020年度)研究代表者：金城厚(沖縄県立芸術大学音楽学部名誉教授)
1. b 基盤研究(C)「奄美における文化の伝承・創生のメディア的展開とアイデンティティ形成に関する研究」(2019年度～2021年度)研究代表者：加藤晴明(中京大学教授)

高瀬澄子(教授、兼任教員)

1)

4. 「『顧誤録』「学曲六戒」は『歌道要法』に影響を与えたか」東洋音楽学会第71回大会 東京音楽大学 2020年11月8日(オンライン開催)

2)

1. a 基盤研究(C) 課題番号18K00135 「『歌道要法』の研究」研究代表者：高瀬澄子 2020年度：40万円(直接経費)
1. b 基盤研究(C) 課題番号20K00132 「琉球王国の儀礼芸能の再現に関する芸能史的研究」研究代表者：金城厚 2020年度：90万円(直接経費)

比嘉 いずみ(准教授、兼任教員)

1)

3. 国立劇場おきなわ主催 企画公演 新作組踊「春時雨」
(国立劇場おきなわ：大劇場)第1部／創作舞踊の世界「鳩間の主」
2020年3月21日
3. 沖縄県立芸術大学主催 琉球芸能定期公演
(沖縄県立芸術大学：奏楽堂ホール)「金細工：アンマー」
2020年10月10日
6. 沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育プログラム開発事業
第7回講演会(収録) 芸能から受け継ぐ「誇らしゃしまくとぅば」
講師：中曽根律子／聞き手：比嘉いずみ(琉球新報ホール)

2019年9月23日

6. 沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育プログラム開発事業
オンデマンド教材収録 舞踊基礎① 解説担当(琉球新報ホール)
2019年9月23日

6. 沖縄県立芸術大学しまくとぅば実践教育プログラム開発事業
オンデマンド教材収録 舞踊基礎② 解説担当
(沖縄県立芸術大学：奏楽堂ホール)
2020年12月28日

6. 那覇市小禄南小学校 芸術鑑賞会
(那覇市立小禄南小学校：体育館)
2020年11月27日

7. 次世代へ継ぐしまくとぅば実践 連載
「琉球舞踊の姿勢イメージする言葉」『琉球新報』(文化面)
2020年9月1日

令和2年度 附属研究所 客員教授・研究員一覧

〈客員教授〉

【芸術文化学部門】

波照間 永 吉 (琉球文学／文化学)

【伝統工芸部門】

柳 悦 州 (染織技術論)

〈客員研究員〉

【芸術文化学部門】

安 里 進 (考古学)	何 俊 山 (言語学)
呉 海 燕 (琉球歴史・琉球文化)	呉 海 寧 (沖縄思想史)
鄭 相 哲 (沖縄文学)	張 榮 蓉 (琉球・アジア陶磁史)
ビットマン・ハイコ (琉球・沖縄美術史)	

【伝統工芸部門】

長 尾 紀 壽 (沖縄染織)	ハンス・トムセン (日本美術史)
----------------	------------------

【伝統芸能部門】

梅 田 英 春 (民族音楽学)	高江洲 義 寛 (作曲・琉球芸能論)
-----------------	--------------------

〈共同研究員〉

【芸術文化学部門】

伊 禮 拓 郎 (琉球漆工史)	大 竹 有 子 (琉球文学)
我 部 大 和 (中国文学)	菊 池 誠 一 (考古学)
菊 池 百里子 (琉球・アジア陶磁研究)	喜屋武 千 恵 (琉球絵画研究)
久 貝 典 子 (琉球・沖縄染織文化史)	久保田 久美子 (絵画研究)
古波蔵 ひろみ (琉球芸能装束・結髪研究)	坂 井 隆 (アジア文化)

佐々木 和 子(琉球文学)	柴 田 圭 子(琉球・アジア陶磁研究)
世 良 利 和(沖縄映画史)	平 良 徹 也(琉球文学)
平 良 優 季(琉球絵画研究)	永 崎 研 宣(人文情報学)
仲 原 穰(琉球語学)	仲 原 伸 子(琉球文学)
仲 村 躰(琉球史・文化学)	西 岡 敏(琉球語学)
平 川 信 幸(琉球・沖縄絵画史)	藤 城 孝 輔(沖縄映画史)
前 田 勇 樹(琉球沖縄史)	松 永 明(琉球文学)
茂 木 仁 史(琉球芸能)	山 田 浩 世(琉球史)
山 本 正 昭(歴史考古学)	四日市 康 博(考古学)
胡 一 超(考古学)	李 海 霖(考古学)
盧 姜 威(空手研究・沖縄武術史)	サイフマン・トラビス(歴史学)

【伝統工芸部門】

大 城 水 絵(紅型研究)	崎 原 克 友(沖縄織物研究)
篠 原 あかね(沖縄染織研究)	仲 本 の な(紅型研究)
平 田 美奈子(紅型研究)	前 川 佐 知(アジア染織研究)
丸 田 勉(陶土研究)	山 田 葉 子(沖縄織物研究)

【伝統芸能部門】

粟 国 恭 子(文化人類学・文化論)	岩 井 正 浩(民俗音楽学)
大 城 盛 裕(民俗芸能論)	大 城 了 子(音楽学)
大 嶺 可 代(琉球芸能論)	川 鍋 かつら(琉球芸能論)
古 謝 麻耶子(民族音楽学)	後 藤 育 慧(音楽学)
小 林 幸 男(民俗音楽学)	鈴 木 良 枝(民族音楽学)
高 橋 美 樹(民族音楽学)	中 島 由 美(言語学)
長 嶺 亮 子(民族音楽学)	平 敷 兼 哉(民俗学)
本 間 千 晶(音楽学)	又 吉 恭 平(琉球芸能論)
三 島 わかな(音楽学)	持 田 明 美(琉球芸能論)
與那城 常和子(民族音楽学)	カーク・キング(民族音楽学)